

群馬中央医療生協はいま (2019年1月末)

組合員	36,801人
出資金	10億370万600円
一人平均出資金	27,296円

くらしと健康

第635号
3月号/2019年

群馬中央医療生活協同組合
発行 371-0811 前橋市朝倉町830-1
発行人 岡田桂一 TEL 027-265-3531
編集 ぐらしと健康編集委員会 FAX 027-265-3532
http://www.kyouritsu.org/
定価 1部 30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)

誰もが集える地域の居場所に

あずま支部 「お茶のみ保健室あずま」



前橋協立病院の越替由起副総看護師長によるミニ学習会

組合員の長年の思い

前橋市内で支部が主体となって運営する初めてのたまり場が2018年12月に開所しました。あずま支部の「お茶のみ保健室あずま」です。地域の誰もが利用できる居心地のいい場所になることを目指して、支部運営委員会を中心に模索中です。その取り組みの様子と地域からの期待の声を紹介します。

前橋地区の西部ブロック(あずま・あずま滝川支部)では数年前から、自分たちの地域にたまり場を作りたいという思いのもと、職員と協同での組合員訪問や空き家探しを行ってきました。そんな中の2018年夏、地元の建築業者の方から情報をいただき、

スタートした12月に、コモ班会も会場を移して、ここで始めました。協立病院の看護士による「冬の健康管理」についての学習会などを行いました。並行してこれまで朝日が丘公民館を借りて行ってきた毎月第二火曜日の体操を行う口



気ままにおしゃべりがはずみます



班会での体操、誰でも参加できます

地域から寄せられる期待

開所式にも来ていただいた下新田町の自治会長、牛込義弘さんは、「地域でも、誰かにつながっている」ということが大



牛込さん



小菅さん



一柳さん

切。ここに来ることがきっかけで他につながることができるといいですね。」と話されます。前橋市地域包括支援センター東の管理者、小菅宏美さんからは、「今までは、これまで地域にあった近所同士のお付き合いが難しくなってきた」といいます。自治会のサロンの先

と同じように、ここだったら安心して行ける、という選択肢の一つとして選んでもらえるといいですね。お客さんとしてだけでなく、お手伝いしてくれる人にとってもその役割を発揮できる場になるのではないのでしょうか。」との期待の声をいただきました。

また、前橋市社会福祉協議会の一柳大輔さんも、「社協は民間と一緒にやっていくことを目指しています。ここはその先

まだ始まったばかりの「お茶のみ保健室あずま」。支部では医療生協の目指している「住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができる」ための居場所として活用していくために、まずは毎月のスケジュールとして野菜販売や健康チエック、歌を歌ったり音楽を楽しむ会などを計画。これからの活動から目が離せません。

(前田)

ちやうしんき

2002年の日韓ワールドカップや韓流ブームなどをきっかけに、ここ20年で韓国と日本の関係はグッと近づいたように思います。ところが元徴用工への損害賠償訴訟やレーダー照射問題をきっかけに、再び不安な空気が流れています。◆私が初めて韓国に行ったのは一九九六年頃で、当時小学六年生でした。ホームステイ先のおじいさんは日本語を話せる方でした。たぶん戦争の名残なのだと思いますが、日本人である私を快く受け入れ、初の海外旅行で不安だらけの私に最大限のおもてなしをしてくださいました。おかげでとても心に残る旅になりました。◆日本と朝鮮半島の間には戦争の歴史があり、その認識をめぐりしばしば論争が起きます。それでも相互に尊重しあい、認めあうことで人と人の心は通じ合えます。歴史問題も棚上げにすることなく、学びあうことで関係性を築けてきたと思います。様々な交流がそれを証明してきたと思います。国のいざこざで民間の交流がはばかれるのは悲しいことです。朝鮮半島の融和が進む今、改めて、話し合いでお互いの理解を深め合いながら、よりよい未来を築いていきたいものです。

“今困っている”から未来の展望を 「10年構想交流集会」各地区で開催

群馬中央医療生協「10年構想」・「第6次五カ年計画」の策定に向けた交流集会が2月14日（木）に中毛地区、2月15日（金）に桐生地区、2月20日（水）に太田地区で開催され、総代・支部運営委員・班長及び理事・職員等、総勢136名（組合員90名、理事18名、職員28名）が参加しました。前半は岡田専務理事から昨年の通常総代会以降の支部や班等での討議の状況を、長谷川常務理事からはこの1年の特徴的な組織活動の実践について（太田地区は金子事務長が地域の状況について）報告を行いました。後半はグループに分かれてのワークショップとしました。地域組合員と職員組合員が同じテーブルで10年構想に対する意見・要望等を出し合い交流、全ての参加者からの発言で議案を豊かに深めることができました。理事会として出された意見や要望をもとに6月に開催されます通常総代会議案の作成をすすめます。

計 報 中村修一 監事 69歳
1月30日に死去されました。2005年から群馬中央医療生協の監事を務めていただいております。謹んでお悔やみ申し上げます。

中毛地区

12グループに分かれての討議。「多世代が近居する住まいづくり」「気軽に歩いて楽しく過ごせる病院づくり」など構想や夢が広がりました。



「人生経験豊かな組合員さんと一緒に班があると嬉しい」「子育て・人生の先輩として若い世代と交流したい」など多世代とつながりたいという声も出されました。

桐生地区

3グループで討議。「空き家が増えて不安」「高齢化で婦人会や老人会が無くなっている地域もある」「助け合いの会とか充実させたい」等、活発に意見や要望が出されました。



太田地区



5グループで討議。「空いている病棟をカフェやサロンとして利用したいね」「男性ボランティアを増やしたい」「子育て世代との交流が必要」など様々な意見や要望が出されました。

組合員各位

2019年度総代選挙のお知らせ

定款45条、46条及び総代選挙規約に基づき総代選挙を行います。総代定数、受付等は下記の通りとします。（丁目は省略）

1、定数

1区	南町、六供町、文京町、天川町、天川原町、朝倉町、後閑町、上佐鳥町、下佐鳥町、中内町、西善町、礪島町、東善町、宮地町、山王町、公田町、亀里町、下阿内町、下川町、徳丸町、鶴光路町、新堀町、房丸町、横手町、力丸町、広瀬町、女屋町、天川大島町、上大島町、下大島町、上長磯町、下長磯町、野中町、東上野町、筑井町、小島田町、駒形町、上増田町、下増田町、小屋原町、飯土井町、泉沢町、今井町、新井町、荒子町、荒口町、下大屋町、富田町、鶴が谷町、西大室町、二之宮町、東大室町	79人
2区	大手町、朝日町、表町、紅雲町、千代田町、本町、三河町、城東町、日吉町、幸塚町、上沖町、下沖町、西片貝町、東片貝町、三俣町、江木町、荻窪町、石関町、上泉町、亀泉町、堤町、堀之下町、若宮町、岩神町、国領町、敷島町、住吉町、昭和町、平和町、緑が丘町、川原町、小神明町、小坂子町、五代町、勝沢町、金丸町、高花台、鳥取町、端気町、嶺町、青柳町、荒牧町、川端町、北代田町、上小出町、下小出町、上細井町、下細井町、関根町、田口町、南橋町、日輪寺町、龍蔵寺町、富士見町、大胡町、茂木町、堀越町、横沢町、滝窪町、東金丸町、河原浜町、樋越町、上大屋町、鼻毛石町、柏倉町、市之関町、三夜沢町、苗ヶ島町、馬場町、大前田町、粕川町、池端町、上青梨子町、清野町、総社町、高井町、大渡町、石倉町、下石倉町、問屋町、鳥羽町、元総社町、青梨子町、大友町、大利根町、青葉町、朝日が丘町、江田町、川曲町、小相木町、後家町、上新田町、下新田町、新前橋町、稻荷新田町、箱田町、古市町、前箱田町、光が丘町	60人
3区	伊勢崎市、玉村町並びに1区、2区、4区、5区を除く群馬県内の地域	12人
4区	太田市、館林市、大泉町、邑楽町、千代田町、明和町、板倉町	40人
5区	桐生市、みどり市	19人
6区	職域	5人

合計 215人

2、群馬中央医療生協組合員で立候補される方または本人の承諾を得て立候補者を推薦する方は、所定の様式に必要事項を記載して総代選挙管理委員長まで届け出て下さい。

3、届出の期間は、2019年3月1日（金）～3月15日（金）までとします。

問い合わせ先 群馬中央医療生協 生協事務局 前橋市朝倉町830-1 ☎027-265-3531

2019年2月13日

群馬中央医療生活協同組合

総代選挙管理委員長 岸 英夫

3・11ふくしまを忘れない

私たちにできること・やらねばならないことは 東日本大震災被災地に通い続けて

地震で助かった命がなぜ津波で奪われたのか

2011.03.11は決して忘れることのできない日となりました。震災発生以来、私は建築とまちづくりを手掛けている仲間と被災地に入り微力ながらも調査や、支援にかかわってきました。各地に建てられた慰霊碑には同姓の名や年齢を記したものもあり、それらの方々の未来を奪われた無念さはいかばかりかと思われてなりません。通信手段の発達した時代なのに地震で助かった命がなぜ津波で奪われたのかと思うと残念でなりません。

避難者には未来図描けない苦悩が

そして大震災のもたらした最大の問題は未曾有の原発事故です。「原子力は絶対に飼い慣らすことのできない猛獣」と福島第1原発で働いていた東電のエンジニアの方が言っていました。

原発事故は地震や津波などの自然災害と決定的に違います。放射能汚染で避難した方々には未来図が描けない苦悩があります。そしてさらに苦悩に拍車をかけている「東電、国の責任逃れ」もあります。地震津波などの自然災害なら元の町で再建は出来ます。



帰還困難区域は廃墟の街となり避難解除の町でさえ小中学生は震災前の1割も戻らず(2018.04集計平均値)働き盛りの世代もほとんどいません。数年

前に我が群馬の南牧村は「将来消滅の恐れのある自治体」のトップに数えられましたが、その根拠は「子育て世代の減少」でした。原発避難地域のいくつかは20~30年以内の消滅の可能性は非常に高いと言わざるを得ません。わずかに戻った高齢者がいなくなればゴーストタウンになります。故郷の我が家はゲートで閉ざされ、許可なく庭にも入れないのが現状です。

豊かな自然の中で祖先から営々と生業を営んできた広大な地域がイノシシなど野生動物の闊歩する地となり、田畑は伸び放題の樹木や汚染土を入れたフレコンバックの山で覆いつくされています。この原発周辺の市町村の現在の惨状や、故郷を追われて帰れない人々の事を1人でも多くの人に知ってもらい是非とも現地も見てほしいと思います。そして今私たちに出来る事、やらねばならない事は原発からの再生エネルギーへの転換を図り、子や孫に不安のない未来を残す事です。それこそ今を生きる私たちの大きな義務であると強く思います。



惨状を知ってほしい、現地を見てほしい

世界最大規模の柏崎刈羽原発から150km圏内の群馬も、福島級の事故が発生し冬の季節風で放射能が降り注げば「もはや住み続けることは出来ない」と警告されていることも決して忘れてはならないと思います。

理事 新井 隆夫

社会福祉法人協同福祉会
特別養護老人ホームほなみ



ほなみだより

一人ひとりの思いや願い実現できる施設へ



医療生協主体のボランティア組織
「ほなみの会」発足

昨年8月にオープンした特別養護老人ホームほなみも、開所してから半年を迎えました。これまで入居者様の思いを実現するために、レクリエーションや形に残る様々な取り組みを進めてきましたが、それらを継続して実践するための環境整備がまだまだ不十分でした。そこで、群馬中央医療生協を主体としたボランティア組織「ほなみの会」を発足することになりました。

非常勤理事である塚本さん・新井さんにご尽力いただき、2月6日(水)に「ほなみの会」の顔合わせとなる集まりが行われました。事前に組合員さんへのボランティア募集で申し込んでいただいた方やすでに地域でボランティアをいただいている方など20名が参加し、会の目的・体制の確認と自己紹介で交流、「〇〇だったらできます!」「〇〇をやっているのほなみで活かしたい!」「まずは入所者さんに顔を覚えてもらいたい」などそれぞれの思いを出し合いました。

昨年12月から地域交流スペースで始まった「喫茶ほなみ」(毎週水曜日13時開店)は入居者様とボランティアさんとの交流の機会としても大変ご好評を頂いております。今後も入居者様の思いに寄り添い、やりたいことや叶えたいことを実現できるよう、また、社会参加できるよう、ボランティアさんと協力しながら地域に根ざした取り組みや支援を強めていきたいと思っております

特別養護老人ホームほなみ 事務 原嶋 桂蔵

沖縄の民意は辺野古基地建設NO! 県民投票支援行動に職員が参加

「辺野古米軍基地建設のための埋立での賛否を問う県民投票」に向け2月15日(金)~17日(日)の3日間、辺野古への新基地建設を許さないという立場で県民投票を呼びかける支援行動に前橋協立病院から3名で参加してきました。



昨年の県知事選挙で、玉城知事は辺野古新基地建設反対と公約して当選しており、沖縄県民の民意は明確に示されました。しかし、政府は、県知事選挙の争点は基地問題だけではないとし、辺野古沖への土砂投入を強行しています。今回の県民投票は、改めて埋立てによる基地建設の賛否を問うものであり、ここで大差をつけて基地建設NOの民意を示すことができるならば、沖縄のみならず日本全体の平和を守り発展させていく運動に大きな影響をもたらすことができると考えます。

現地では私たち医療生協の仲間でもある沖縄医療生協も参加する6者共闘の事務所に、全国の医療生協や民医連の職員が支援にかけつけていました。4人1組でハンドマイク、のぼり旗、プラスターパネルを持って、新基地建設NOという沖縄県民の民意を示そうと訴えました。わざわざ家から出てきて話を聞いてくれる人や、車の中から声援をしてくれる人がとても多く、沖縄県民の多くは、米軍基地はNOという思いが強いことを実感しました。

支援行動の前日、移動時間の合間を使って辺野古を見に行きました。自然豊かできれいな海で、ここを埋め立てて新基地なんて造らせてはいけないという思いを新たにしました。

県民投票の結果が「沖縄の民意は辺野古に基地はいらない」と出ていることを期待するとともに、沖縄のことをもっと多くの人に知らせ、平和・民主主義を守る運動を広く展開しなければという思いで群馬に帰ってきました。 前橋協立病院事務次長：吉田一夫

特集

「障害年金制度」

「貯金で済みますか？」その1

原則20〜64歳までほとんどの傷病に対応！

「年金」といえば原則65歳以上から受け取れる「老齢年金」や「遺族年金」などが一般的に知られていますが、一般的に20歳以上から受給できる年金が「障害年金」です。しかし、制度自体が知られていないため、もらえるはずなのに「もらい漏れ」となっていることが多いのが実状です。今回は障害年金専門の社会保険労務士である萩原秀長さんに制度の内容や具体的な実例等を2回にわたってご紹介いただきます。



適格消費者団体 消費者支援 群馬ひまわりの会理事

社会保険労務士 萩原 秀長

当然の権利としてもらえる「公的年金制度」

障害年金は、国民年金・厚生年金といった公的年金の中の老齢年金、遺族年金と並んで組み込まれている「公的年金制度」です。「障がい」という人生のリスクに備えられている、いわば「国の保険」としての所得補償制度であり、条件に該当していれば国民の当然の権利として国からもらうことができるものです。老齢年金や遺族年金と同様に国から受け取った年金を返却する必要はなく、受けていることで基本的には何かの制限を受



けるものではありません。

老齢年金や遺族年金はご存知でも、障害年金は「知らない」、もしくは「制度の名前は聞いたことがあってもどのような条件でもらえるのか知らない」という人が多いのではないのでしょうか。

知られていない「障がい」

「もらい漏れ」が多い制度

障害年金は、もらうことができる諸条件を備えているにもかかわらず、国に請求を行っていないばかりに、いわば「もらい漏れ」となってしまうという人が非常に多い制度です。その主な理由として、「制度が知られていないこと」「他に、「制度についての誤解が多い」ことが挙げられます。恥ずかしながら自身も障害年金専門の社会保険労務士を目指す前は、全く知らなかった制度でした。ご相談にい

らっしゃる方の多くもそれまで知らなかった。誤解をしていた方が非常に多いのが現状です。

早く知って手続きしたいら・・・相談者の声

「病気のせいで収入が減り、医療費も増えて、経済的な不安で押し潰されるような毎日だった。障害年金があればあんなにも気苦労をすることがなかったのに・・・」

「働けなくなると経済的に困窮が続いた。障害年金があれば生活保護制度の利用にも至らなかつたかもしれない・・・」

「生活のために無理をして働いた。障害年金があれば病状を悪化させなかつたかもしれない」

「手続きの複雑さが大きな壁に」

障害年金制度を利用するため



よくある誤解 その1
対象年齢と対象傷病の範囲に該当していないと思っていた

☆一般的には20歳〜65歳未満の人が対象です。

障害と聞くと、老齢になって病気になる方をイメージされる方もいらっしゃると思います。障害年金は若い世代でも諸条件に該当していればもらうことができる制度です。

☆ほとんどの病気や怪我が対象です。

障害年金は世の中にあるほとんどすべての病気が対象となっている制度です。手足の切断などの外傷のみならず、うつ病や双極性障害、統合失調症などの精神疾患や心疾患、脳出血や脳梗塞、脳挫傷等による様々な後遺症、様々ながん、様々な難病、等々も対象になります。

私が相談を受けた際に「行政窓口などで〇〇病だと障害年金の対象にはならないと言われたことがある」と伺ったことがありますが、実はその案内が間違っており、実際には対象になることも多くあります。制度の対象になる可能性がありそうか、あらためて確認をしてみるとよいかもしれません。

障害年金と聞くと、手足の切断や寝たきりのような状態ではないと該当しないようなイメージを持たれる方もいるようですが、前述のように、様々な病気や怪我の後遺症によって、働けない、働くことに支障が多い、家事が困難などといった状態でも該当する場合は多くあります。

次号に続く

消費者支援「群馬ひまわりの会」とは・・・

消費者被害の拡大防止のために活動を行っている団体
※正式名称は「内閣総理大臣認定：適格消費者団体、非営利活動法人・消費者支援群馬ひまわりの会」
〒376-0011 群馬県桐生市相生町3丁目120番地6
TEL 0277-55-1400
FAX 0277-55-1429
※障害年金に関する相談も受けています。

萩原 秀長（はぎわらひでたけ）社会保険労務士のプロフィール

反貧困ネットワークぐんま事務局所属。適格消費者団体 消費者支援 群馬ひまわりの会理事。立教大学を卒業後、広告代理店勤務を経て、社会保険労務士資格を取得。自身の身近な人が精神疾患に罹患したことがきっかけとなり、障害年金による支援ができる社会保険労務士を目指すことになった。平成27年8月に群馬県高崎市に萩原秀長社会保険労務士事務所を開業。障害年金専門の社会保険労務士として、相談・請求手続きを行いながら、制度周知のための講演活動などにも力を注いでいる。著書に『就労にまつわる障害年金 請求・相談のポイント』（共著、日本法令）がある。

新たにつながる喜び

1/23

新配布者歓迎会

中毛地区 桂萱西支部

前橋協立診療所隣の「いこいの家」で、支部主催の『新配布者歓迎会』を初めて開きました。支部目標で配布者を増やそうと決めて行動した結果、新配布者が6名誕生しました。



当日は3名の新配布者と支部役員、担当理事、前橋協立診療所と城東ケアの職員計10名で、手作りのちらし寿司やけんちん汁を食べながら歓談。89歳の運営委員さんが「機関紙を65部配っている」と話すと、新配布者で88歳・94歳の方が「負けてられないな。手伝える事があればやりますよ」「班会にも興味があるので見学したい」と嬉しい言葉を返してくれました。

歓談後は、脳トレ体操で大笑い、オカリナ演奏で合唱と楽しい時間を共有、素晴らしい方々とつながることができたことをとても嬉しく思いました。

みなさんの自分史や健康維持のために努力している話を聞いて元気をもらいました。今後の支部活動を頑張ろうと思います。
(支部運営委員 奥木 由美子)



和やかな雰囲気で行われた歓迎会

今年も行ってきました!

1/17

石打「こぶ観音」ウォーク

太田地区 休泊支部

雲一つない快晴に恵まれ、休泊支部主催でこぶ観音へ行ってきました。今年の参加者は、例年より多く31名でした。風は少し冷たかったけれど遠く



今年も良い年になりますように。みんなで「はいチーズ!」

の山々を見ながらのウォーキングは最高でした。最初に谷中観音へ行き集合写真を撮りそこからこぶ観音へと向かいました。人出が多く参道は長蛇の列でした。いろいろな店が出ており買い物などをして楽しく過ごしました。
(支部長 森田 功)

地域活動アラカルト

自分の最期を考える

2/7

「私の人生ノート」学習会

中毛地区 城東支部

理事になって4年目を迎えた今年、組合員14名、職員3名の出席で支部新年会が出来たことをとても嬉しく思っています。前半は手作りけんちん汁、紅白大根浅漬け、香ばしいごぼう茶をいただきながら楽しく交流。後半は組合員多数からの要望で、前橋市地域包括支援センター南部管理者の高橋ケアマネジャーを講師に「私の人生ノート」の学習会を行いました。「いざ」という時、どんな治療を受けたいか、どこで最期を迎えたいかなど、自分の希望を考えて書き留めておくことが必要だと参加されたほとんどの方が感じたようです。「帰ったら書いてみよう」という方もいました。とても有意義な学習会となりました。



「ごぼう茶」でカンパ〜イ!!



真剣に聞き入る参加者

(理事 青木 典子)

「すこしお生活

2/17

始めませんか」

消費者まつり

2月17日(日)、消費者まつり(主催:群馬県生活協同組合連合会・群馬県くらしの会連絡協議会)が県庁「県民ホール」で開催されました。群馬中央医療生協からスタッフ(理事・職員)



「お味はどうですか?」試飲をすすめる北原管理栄養士と塚本理事

9名が参加。前橋協立病院栄養室の管理栄養士が当日朝に調理・持参したみそ汁(塩分濃度0.8%)を試飲してもらい、「すこしお生活 始めませんか?」と呼びかけました。塩分摂取の「自己チェック表」「心がけ」などの印刷物を渡して説明。来場者は熱心に聞き入ってくれ、中には「私も減塩の調理を心がけています」「減塩調理しても麺類の汁は全部飲んでしまわないようにしています」などと食生活に注意をはらっている方もいました。



来場者の相談に対応する永来管理栄養士

(消費者まつり実行委員 理事 岸 英夫)

班会紹介

吟詠で健康づくり!!

前橋北支部 吟詠会

前橋北支部に待望の新班が誕生しました。詩吟をする会です。20年以上詩吟をしている宮路さんが他の班会で披露したところ、「ぜひ教えて! 教えて!」との声上がり班としてスタート。詩吟は、発声の際に腹筋や背筋、横隔膜から腹・腰に至るまでほぼ全身の筋肉を使うので筋トレにもなることから、班のみなさんは「詩吟を運動として続けていこう」とはりきっています。



20年以上詩吟を続けている宮地さん(右から3番目)

今年も元気に1年が過ぎませすように!!



▲豆(お手玉)を投げて鬼退治する利用者さん



▲豆まき後に鬼となかよく記念撮影

お手玉で豆まき
デイサービス城東
 前橋協立診療所2階にある通所介護デイサービス城東で節分前日の2月2日、豆まきをしました。普段の恨みをこめて(?)「鬼は外、福は内」と鬼めがけて元氣よく豆(お手玉)を投げました。利用者みなさんは、最初は少し遠慮もありましたが、慣れてくるにつれて力強く投げられるようになり、とても楽しい時間となりました。最後にみんなのいい笑顔で記念撮影をしました。
 (前橋協立診療所事務長 前田和也)

運転手募集!!



勤務先: 通所介護デイサービス城東
 (前橋協立診療所2階: 前橋市城東町3-15-28)
勤務時間: 8:30~10:00、15:30~17:00の1日2回
勤務日: 週2~6日、相談に応じます
時給: 905円
連絡先: 027-231-6060 (前橋協立診療所、担当: 前田)

介護職員初任者研修 受講生募集のご案内



自分らしく暮らし続けるためのお手伝いをしてみませんか?

受講期間 2019年5月8日(水)~2019年8月5日(月)
 ☆講義・演習は上記期間中24日間(月・水)
受講時間 午前9:00~午後5:00
受講場所 群馬中央医療生活協同組合 生協会館2Fホール(前橋市朝倉町830-1)
 ☆実習は指定する施設で行います

この講座を修了すると高齢者や障害者の身体介護の技術を身に付けることができ、介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)の資格を得ることができます。

受講条件 以下の全事項に該当する方とします
 ①全部の講座、演習、実習に参加できる方
 ②短時間でも介護職員として働く意志のある方、または将来その希望をもつ方
受講料 60,000円
 (医療生協で返済免除規程のある奨学金制度があります)
 ☆テキスト代金を含みますが、健診費用は実費となります
募集人数 30名 ☆定員をこえる申し込みの場合、当方にて選考させていただきます
募集期間 2019年3月11日(月)~2019年4月12日(金)
申込書 群馬中央医療生活協同組合のホームページに掲載されていますので、そちらを印刷してご利用いただくか、下記にお電話いただければ郵送致します。あるいは、以下の事業所にも置いてありますので、お持ち帰りください。

【事業所】
 前橋協立病院・前橋協立診療所・協立歯科クリニック・前橋市地域包括支援センター南部・在宅介護支援センター朝倉・ふれあいの家六供・城東ケアセンター・桐生協立診療所・太田協立診療所
 協同福祉会特別養護老人ホームほなみ

当講座は厚生労働大臣の「一般教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」であり、講座を修了した場合、教育訓練経費の一定割合が給付されます。なお、給付対象者の詳細は、最寄りのハローワークにお尋ねください。(*生協の制度を利用する場合、こちらは受けられません)

【お申し込み・お問い合わせ先】
 〒371-0811 前橋市朝倉町830-1
 群馬中央医療生活協同組合 介護職員初任者研修 担当: 萩原
 TEL (027) 265-3531 / FAX (027) 265-3532

暮らしとお金に関する無料相談のご案内

前橋協立病院では、くらしやお金に関する無料の相談窓口(金融コンシェルジュ)を設置しています。これは、特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会の協力を得て実施するもので、協会が派遣するファイナンシャル・プランナーが中立的な立場からご相談にお答えします。

患者さま・ご家族の方及び組合員のみなさまからのご相談をお受けいたします。お気軽にご相談ください。

ご相談日: 毎月 第2火曜日・第4金曜日
ご相談料: 無料
ご予約時間: ①10時半~
 ②13時~
 ③15時~ (各90分)

お申込み先: 前橋協立病院
 TEL 027-265-3511 (代表)
 群馬中央医療生協
 組合員活動課
 TEL 027-265-3531 (代表)



理事会だより

●一月十九日(土)定数二十九人中二十五名の出席で第八回理事会を開催しました。

主な議題

- ① 会務報告に関する件
- ② 専門委員会報告に関する件
- ③ 総代選挙に関する件
- ④ 10年構想議論の進捗と2月拡大支部代表者会議の準備に関する件
- ⑤ 支部解消に関する件
- ⑥ 太田協立診療所CT更新に関する件
- ⑦ 居宅支援事業所統合に関する件

以上、報告・協議の上、提案通り承認しました。

組合員のみなさまへ 転居等の手続きに関するお願い

- ★転居して住所が変わったときや組合員ご本人がお亡くなりになられた場合は必ずご連絡下さい。
- ★手続きの際にはご用意いただくものがありますので、できれば事前にご連絡下さい。

お問い合わせ先
 群馬中央医療生協 本部 運営管理課
 電話 027-265-3531

仲間の作品コーナー



絵手紙 前橋市 高瀬佳子さん



木目込み 大泉町 橋本さわ子さん



和紙絵 太田市 三田トミエさん



絵手紙 太田地区 蕪川南支部 絵手紙班の皆さん



ブローチ 伊勢崎市 山本素子さん



絵手紙 前橋市 堀泰雄さん



絵手紙 前橋市山王町 小島実さん



ちぎり絵「えび」 前橋市 伊藤千代子さん



絵手紙 前橋市 松村恵津子さん